

やんばる木育円卓会議³

会議のテーマ

やんばるの森林資源を使って守るため、 「木育」をどう広げていくか？

国頭村森林公園 交流センターが「やんばる森のおもちゃ美術館」として、11月2日に生まれ変わりました。国頭村の森林資源を活かし「木育」をテーマとしたこの施設は、木のおもちゃに触れて遊ぶことができる他、内装・家具にも国頭村産の木材を使用し、やんばるの森林業・木工業のショールームとしての役割も担います。この円卓会議は、美術館の周知を行いながら、「木育」をキーワードに、国頭村のまちづくり・産業振興にもつながる対話の場として開催いたします。

2014年 **2月13日(木)**

18:30~21:00

(開場は 18:00)

九州沖縄トラック研修会館

第1研修室

那覇市港町2-5-23

(かんぼの宿 那覇レクセンター近く)

※会館に駐車場はございますが、台数に限りがありますのでできるだけお乗り合わせてご来場くださいませ。

参加無料

どなたでも会議のようすをお聞きいただくことができます。参加ご希望の方は、ぜひ会場へお越しくださいませ。会議の途中で質問コーナーも設けます。



やんばる木育円卓会議³

2014年2月13日(木) 18:30~21:00

九州沖縄トラック研修会館 第1研修室

那覇市港町2-5-23

会議のテーマ

やんばるの森林資源を 使って守るため、 「木育」をどう拡げていくか？

やんばるの森は、沖縄に暮らす人々に多くの恵みをもたらしてきました。しかし、産業構造の変化などにより、木材需要が減少し、森を使いながら守る古来からの循環が崩れつつあります。

これまでに2回国頭村内で開催したこの円卓会議では、国頭村の人々が森とともに生き、森を守ってきた歴史や、それを沖縄全体に伝える必要性などについて議論を重ねてきました。3回目となる今回は那覇で開催し、やんばるの森林資源を活用しながら守る方法・アイデアについて、より多くの方たちと一緒に考えていきたいと思えます。



着席出席者

上里 幸秀 氏 (沖縄県 森林緑地課資源活用班 班長)

平良 勇 氏 (国頭村観光物産株式会社 支配人)

山川 安雄 氏 (NPO 法人国頭ツーリズム協会 代表理事)

浦崎 典子 氏 (くにがみ児童クラブ 主任)

小宮 啓明 氏 (株式会社 JTB 沖縄 観光開発プロデューサー)

西銘 生喬 (国頭村森林組合 代表理事組合長)

大城 靖 (国頭村役場 経済課 課長補佐)

多田 千尋 氏 (東京おもちゃ美術館 館長)

他、調整中

地域円卓会議とは

多様な主体が、お互いの力や課題を共有しながら対話を積み重ね、協働できる地域社会の実現をめざす場のことです。企業経営や行政政策、プロジェクト推進などさまざまな分野で「マルチ・ステークホルダー・プロセス」が世界的に注目されています。これを実践する場として円卓会議が日本各地で実施されています。

沖縄では、「災害の停電時に介護家庭を支援する方法」「県産魚のブランドینگ」「地域のつなぎ手人材の育成」など、多種多様な課題についての地域円卓会議が開催されています。

地域円卓会議については
公益財団法人みらいファンド沖縄のウェブサイトもご覧ください。

<http://miraifund.org>



第1回やんばる木育円卓会議 (2013年9月24日開催) のようす